

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市誠訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280



教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

■特集 教育支援課 平成24年度重点事業

子どもは ほめて育てよ

教育支援課 武内 克彦

新年度が始まりました。きつと各学校・園では、新しい子どもたちや職員を迎え、活気に溢れていることでしょう。これから長い一年間が始まります。教育支援課も新しいメンバーを加え、子どもや学校・園の支援に向けて気持ちを新たにしています。どうぞよろしくお願いします。

さて、本号では教育支援課の今年度の重点事業を特集しています。教育支援課は「教職員の資質向上」と「特別支援教育の充実」を大きな使命としています。その使命を果たすために様々な事業を行っています。今回は特別支援教育にかかわる中で、感じたことを述べたいと思います。

昔から「子どもは、ほめて育てよ」と言われます。実際は、子どもたちをほめてばかりはいられ

ませんし、時には毅然と叱る必要もあります。しかし、発達に課題のある子どもへの支援では、望ましい行動を捉えてほめ、その望ましい行動を強化する手法が非常に有効です。望ましくない行動を捉えて叱ることは、逆に望ましくない行動を強化してしまうことにもなりかねません。

また、私たちは望ましい行動より望ましくない行動に目を向けてしまう傾向があります。そのため、特定の子どもの望ましくない行動にとらわれすぎてしまい、その子どもの望ましい行動や他の子どもたちの課題などが見えなくなってしまうのです。そして、特定の子どもばかりを叱ったり、怒ったりしてしまい、特定の子どもだけでなく、集団そのものが悪い方向に向かってしまうことも珍

しくありません。

全ての子どもたちにとって、少なくとも叱るよりほめる方が効果的だといえると思います。私たちは、子どもたちを一方的に見るのではなく、多面的に理解し、プラス面に着目するよう意識しなければなりません。そして、その望ましい行動や長所を認めほめることで、強化していくよう心がけていきたいものです。





平成24年度 重点事業

教育支援課 研修・研究グループ

本市の学校教育ビジョンに基づき、今日的な教育課題に対応した研修を実施し、教職員の専門性と実践的指導力を高めるとともに、幅広い視野を備えた教職員の育成および資質・能力の向上を目指します。

1 「教師力向上研修」の推進

142講座 192日

- ① 「教師力向上サポートブックの活用による研修」から、「教師力向上研修」として研修の名称を変更し、研修のより一層の充実を図っていきます。自己分析・自己研鑽・振り返りをスムーズに行い、全教職員の更なる資質・能力の向上を図るとともに、学校・園全体の教育力を高めます。
- ② 個人目標達成のための受講選択が容易になるよう、受講対象者や研修のねらいを明確にした**実践的な教職員研修講座**を実施します。
- ③ 各学校・園でのOJTを円滑にすすめるために、センターニュースやサポートメールを使って適時に**サポート情報を配信**します。



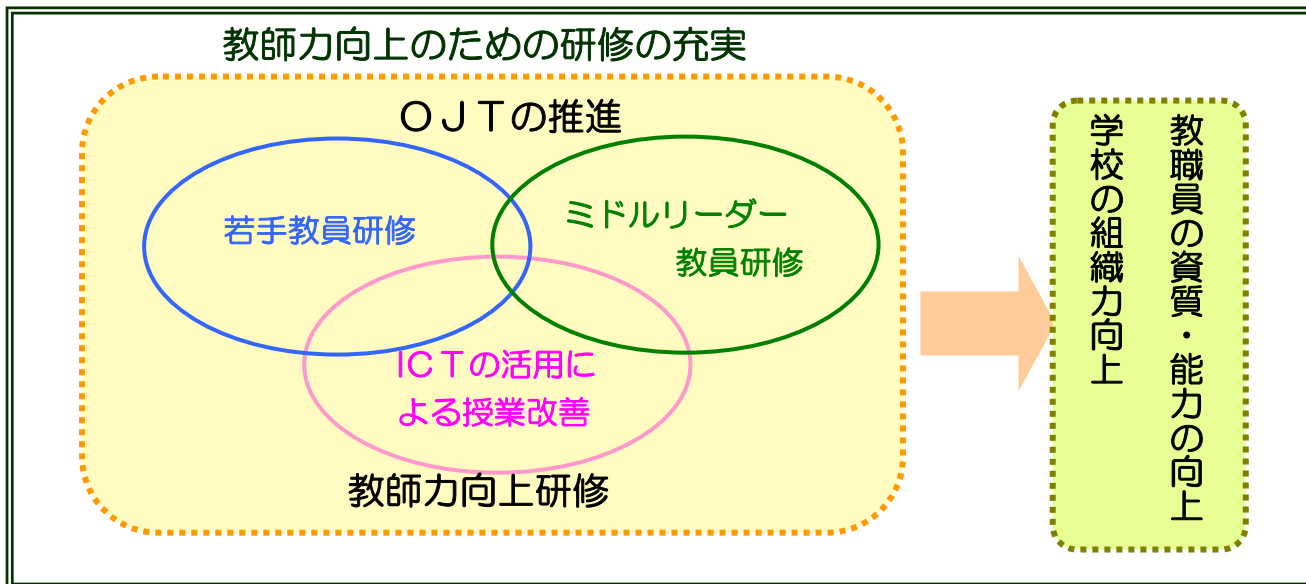
2 若手教員やミドルリーダー教員の育成

- ① 初任から2年目の教諭及び1～2年目の講師を対象に、若手教員研修を実施します。若手教員の授業づくりや学級経営についての研修講座を充実させるとともに、教育アドバイザーと連携して授業訪問支援を行います。
- ② 30～40歳代前半の教員を対象に、学校運営の要となるミドルリーダー教員研修を実施します。学校運営に役立つ研修講座を実施するとともに、若手教員の育成に携わる立場としての在り方について助言・支援します。

3 授業や校務へのICT活用の推進

- ① 各学校のICTコーディネーターを中心に、学校の実態や教職員のニーズに応じた「工夫のある校内研修」の推進を図るとともに、研修の支援に取り組みます。
- ② わかりやすい授業づくりや校務の効率化のためのICT活用を一層進めるために、より実践的なICT活用研修やICTコーディネーター研修等を実施します。





平成24年度 重点事業

教育支援課 特別支援教育・相談グループ



発達障害等で困り感のある児童生徒への支援を行います

1

教育支援課の巡回教育スーパービジョン(小中学校)

学校生活をおくる上で課題のある発達障害等の児童生徒について、授業等の様子を見たと上で、支援の内容と方法を学校に助言します。

中学校は、全中学校に年間2回、昨年に引き続き、特別支援教育士スーパーバイザーの小栗正幸先生が訪問します。

小学校は、要請のあった学校に年間2回、教育支援課セラピストである臨床心理士の今尾真弓先生が訪問します。

2

プロジェクト U-8 事業の「自信を高めるための4つの教室」

..... 本年度より、発達総合支援室と連携して進めます



巡回教育相談等を受けた子どもたちのうち、知的な遅れはないが次のような課題のある子どもや保護者を対象に、4つの教室を開講しています。

早期からの対応を行い、自己肯定感や自信をもって学校生活を送るための支援をします。

1. 幼児ことばの教室 知的障害に起因しない言語に課題のある子ども（4歳児・5歳児）
2. まなびの教室 読み・書き・計算等の理解に課題のある学習障害（疑いを含む）のある子ども（小学校通常学級1，2年生）
3. ともだちづくり教室 コミュニケーション力や社会性に課題のある子ども（4歳児から小学校通常学級2年生）
4. 子どもの見方・ほめ方教室 コミュニケーション力や社会性に課題のある子どもの保護者（ともだちづくり教室に参加している子どもの保護者）

不登校や心に悩みや不安がある児童生徒の支援を行います

3

教育相談(不登校に関わる相談・発達に課題のある子どもについての相談)

不登校や心に悩み・不安のある子どもへの支援として、相談員やセラピストがカウンセリングやプレイセラピー等を行います。継続的な来所相談を経て、子どもの心のエネルギーが回復されたときは、小学生は「わくわく教室」を、中学生は「ふれあい教室」を勧めることもあります。

また、発達等に課題のある子どもや障害のある子どもの支援として、来所相談や学校や園への巡回教育相談を行います。

必要に応じて、諸検査を行ったり、教育支援課が委嘱している専門医と相談したりできます。

4

適応指導教室(わくわく教室、ふれあい教室)

小学生を対象とした「わくわく教室」では、小集団での遊び体験を通して行うソーシャルスキルトレーニングや自信を高めるための学習活動を行います。中学生の「ふれあい教室」では、教育相談やカウンセリングを行った後、集団による学習活動や体験活動を通して、子どもたちの学校復帰に向けての支援や、社会的自立を促す支援を行います。

また、引きこもりがちな子どもの家庭には、学生ボランティア(ふれあいフレンド)を派遣し、子どもの心の安定を図り、自立への支援を行います。



5

四日市早期支援ネットワーク(YESnet)^{イエスネット}

YESnet (Yokkaichi Early intervention Service network) は、四日市市を拠点に、子どもたちのこころの病気の早期発見・早期支援のために、教育委員会、保健所、医療機関がネットワークを結んで取り組んでいる事業です。

- 子どもに心が不安定などの気になる症状がみられたら、教育支援課まで相談してください。必要に応じてYESnet 庁内会議等で事例検討を行い、具体的な支援の方法について話し合い、医療につながるまでの対応についても検討していきます。
- YESnet スタッフが学校へ出向いて、出前相談や子どものこころの病気について理解が深まるよう出前研修を行います。
- 昨年度に引き続き、中学校の生徒を対象に「心の健康 ストレスをぶっ飛ばせ」の授業を、YESnet スタッフが学校へ出向いて行います。